

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-221603

(43) 公開日 平成4年(1992)8月12日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
B 2 7 D 5/00		7628-2B		
1/04	F	7628-2B		

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平2-405549

(22) 出願日 平成2年(1990)12月25日

(71) 出願人 000005832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72) 発明者 金井 英樹

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72) 発明者 川畑 成人

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(72) 発明者 山崎 清好

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

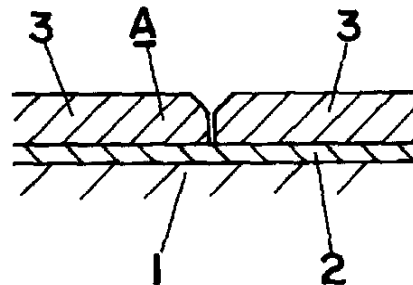
(74) 代理人 弁理士 石田 長七 (外2名)

(54) 【発明の名称】 木質材及びその製造方法

(57) 【要約】

【目的】 厚単板間に接着剤の滲み出しもなく、しかも、厚単板にクラックが発生することもない木質材及びその製造方法を提供することにある。

【構成】 基材合板1に紙基材2を介して複数枚の厚単板3を貼着させている。従って、接着剤は紙基材2を通過して厚単板2を基材合板1に接着させることになり、紙基材2により接着剤の滲み出しがなく、更に、紙基材2がクッション材として機能して厚単板3にクラックが発生することがないものである。



1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 基材合板に紙基材を介して複数枚の厚単板を貼着させて成ることを特徴とする木質材。

【請求項2】 複数枚の厚単板を仕組んだ後、接着面側に紙基材を仮止めし、この後接着剤を介して基材合板に積層することを特徴とする木質材の製造方法。

【請求項3】 紙基材がクラフト紙であることを特徴とする請求項2記載の木質材の製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、厚単板間からの接着剤のしみ出しが防止された木質材及びその製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、床材などとして使用されるこの種木質材A'は図2に示すように複数枚の厚単板3を乱張りとかパーケ調に仕組んで基材合板1に接着されて製造されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来にあっては、厚単板3の間から接着剤がしみ出て補修しないと商品化できないという問題があった。又、厚単板3と基材合板1との膨張収縮率の違いにより厚単板3にクラックが発生してしまうという問題もあった。本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、厚単板間に接着剤のしみ出しもなく、しかも、厚単板にクラックが発生することもない木質材及びその製造方法を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の木質材は、基材合板1に紙基材2を介して複数枚の厚単板3を貼着させて成るものであり、本発明の木質材の製造方法は、複数枚の厚単板3を仕組んだ後、接着面側に紙基材2を仮止めし、この後接着剤を介して基材合板1に積層することを特徴とするものであり、この構成により上記課題が解決されたものである。

【0005】

【作用】 基材合板1に紙基材2を介して複数枚の厚単板3を貼着させているので、接着剤は紙基材2を通過して

厚単板2を基材合板1に接着させることになり、従って、紙基材2により接着剤のしみ出しがなく、更に、紙基材2がクッション材として機能し、厚単板3にクラックが発生することがないものである。

【0006】

【実施例】 厚単板3としてはナラ単板等が使用され、厚みは1.0～5.0mmであり、四周は面取りされている。この厚単板3は複数枚、乱張り及びパーケ調に仕組まれた後に、接着面に紙基材2が点接着又は接着テープにより仮止めされる。紙基材2としては接着剤の浸透性が良好でコストの安価なクラフト紙が好ましい。このクラフト紙は、例えば目付け5.0～80gのものである。次に、厚単板3は接着剤により基材合板1に貼着される。この場合、接着剤は紙基材2を浸透して厚単板3を基材合板1に接着させる。接着剤としては透過性に優れたもの、例えばメラミン尿素系接着剤が好適に使用される。この場合、紙基材2により接着剤が厚単板3の面取り部にしみ出すことがない。又、紙基材2がクッション材として機能し、厚単板3にクラックを発生させることがないだけでなく、耐水性も向上させるものである。

【0007】 このように構成された木質材Aは床材として好適に採用されるものである。

【0008】

【発明の効果】 本発明にあっては、基材合板に紙基材を介して複数枚の厚単板を貼着させているので、接着剤は紙基材を通過して厚単板を基材合板に接着させることになり、従って、紙基材により接着剤のしみ出しがなく、更に、紙基材がクッション材として機能して厚単板にクラックを発生させることがなく、更には、この紙基材は耐水性も向上させるものである。

## 【図面の簡単な説明】

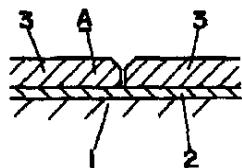
【図1】 本発明の一実施例を示す断面図である。

【図2】 従来例を示す断面図である。

## 【符号の説明】

- A 木質材
- 1 基材合板
- 2 紙基材
- 3 厚単板

【図1】



【図2】

